

広まちづくり計画
～ マーブル・プロジェクト ～

平成21年3月

広まちづくり推進協議会
(広西北部まちづくり委員会)
(広東部まちづくり委員会)
(広南部まちづくり委員会)

はじめに



広地区の新しいまちづくりの指針となる、「広まちづくり計画（マーブル・プロジェクト）」の策定に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

私たちのまち広は、かつては模範村と呼ばれ、住民自治システムの優れたまちとして内外に知られ、また、学制発布50周年を記念して大正11年に当時の広公会堂前に地元有志の方々の手により建立された「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、教育振興を大きな目標に掲げ、住民一丸となって地域づくりを行ってきた歴史をもつまちです。

しかし、近年、交通網の整備や郊外型店舗の増加などにより住環境が格段に向上したことにより、都市化が急速に進んだことで、従来から地域に根付いていた住民が相互に協力し合う「共助」のシステムに翳りが見え始めました。

この地域に住む誰もが、お互い様の気持ちで思いやり、かつてのような優れた住民自治のまちとして発展するためには、我々自身の手で人々の交流、情報・文化の発信機能を高め、この地域に住む一人ひとりがまちを動かす原動力となって行く必要があると考えているところです。

そのひとつの挑戦として、広住民が一からまちを見直し、このまちにあった振興計画を創り上げることを目標とし、昨年10月に「広まちづくり計画策定委員会」を立ち上げました。

このまちを盛り上げようと集まった心ある14名の方々が、約4ヶ月間に渡りワークショップを行い、広ならではのといえるまちづくりのデザイン案を作成し、そのアイデアを採り入れた計画を策定することができました。

この新しいまちづくりの取り組みにより発掘された地域力が、人と人をつなぎ、多様性を受け入れることによって、この広地区がますますエネルギーに満ちあふれた魅力あるまちとなりますよう、心から願うとともに、私も皆様方と共に尽力して参りたいと思います。

終わりにになりましたが、計画策定に当たり、ご協力いただきました市民の皆様、貴重なご意見、ご提案をいただいた関係者の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成21年3月

広まちづくり推進協議会会長
(広東部まちづくり委員会会長)

吉井光廣

広まちづくり計画に寄せて



このたびの新しいまちづくり計画策定に際し、広南部地区を愛する者の一人として、ごあいさつ申し上げます。

かつては古地図にも描かれたように、漁業基地として広で最も発展を遂げた地区がこの広南部の長浜・小坪であります。

近年になって漁港としての機能が薄れるにつれ、雇用など社会活動の中心も広中央部や呉市中央部、広島市などに移り、人口構成も徐々に様変わりしてきました。

しかし、その時代の移り変わりの中で、固い地縁によって結ばれ、大きな開発も行われなかった地域として多くの地域資源が残されて

いる地区でもあります。

南部地区は、かつての繁栄の面影を忍ばせ、その時代を知る者が感じるノスタルジーや初めてこの地を訪れる者へのミステリアスな歴史空間として再発見すべき要素を多く残しております。

このたびの計画が、この地区の魅力を大々的に発信できる機会となり、後世へそれを引き継ぐためのプロジェクトとなることを心から祈念し、地域の皆様と共に、尽力して参りたいと思います。

平成21年3月

広南部まちづくり委員会会長 **平田 久夫**



このたびの新しいまちづくり計画策定に際し、広西北部地区を代表して、一言ごあいさつ申し上げます。

私たちの住む西北部の農業生活と文化は、大雨洪水への対応とともに、黒瀬川（広西大川）と野呂山麓から湧き出るミネラルを豊富に含んだ清流から多くの恵みを受けて育まれてきた歴史をもっています。このような気候・風土の中で、生活に密着した、衣食住の習慣、年中行事、祭りと祭礼、労働慣行などの生活文化が展開されてきました。

私たちの住むまちへの「愛着心」を高め、活気のあるよい「まち」を実現することは、まちづくりの目標の一つであると私は考えます。そのためには、地域についてさらによく知り、新しい視点で柔軟に見直し、身近に感ずることができるよう、掘り起こし（まちの宝探し）、選び、活用する必要があります。

今回の計画の中で提案する八つのプロジェクトが実現すれば、広らしさの一端が溢れ出るのではないかと期待しております。

終わりにになりましたが、この計画策定に当たって、まちづくり計画策定実行委員をはじめとする関係者の方々のご協力に、心から感謝いたします。

平成21年3月

広西北部まちづくり委員会会長 **山口 幸夫**

目次

マーブル・プロジェクトとは	1
1 ゆめづくり地域協働プログラム	
ゆめづくり地域協働プログラムの概要	2
ゆめづくり地域交付金	3
2 広まちづくり計画策定実行委員会	
計画策定体制	4
広まちづくり計画策定実行委員会委員	5
計画策定の経緯	6
3 広地区を取り巻く現状	
地域の現状と課題	8
4 計画の基本的方向	
計画の目的	10
計画の期間	10
計画の対象	10
計画の位置づけ	10
5 実施計画	
まちづくり方針	11
スケジュール	12
地域を支える基本事業	13
広まちづくり計画	15
6 事業計画	
プロジェクト・アイデア一覧表	17
プロジェクト・シート（平成21年度分）	19
プロジェクト・シート（平成22年度分）	27

(資料編)

- 広まちづくり推進協議会規約（役員名簿） (1)
- 広まちづくりワークショップメンバーの募集について (3)
- 広まちづくり計画策定実行委員会 公募委員 応募用紙 (5)
- 広まちづくり計画策定実行委員会委員選考方法及び選考基準 (7)
- 広まちづくり計画策定実行委員会委員 推薦書 (8)

マーブル・プロジェクトとは



広のまちは
多様な
「自然・歴史・文化・空間・ひと」
に育まれ
それぞれの個性を十分に活かしながら
発展してきました

その個性的な
地域の「色」を大切にし
混ざりすぎず 染まりすぎない
躍動的で多彩で美しい
「マーブル模様」のように



人々が程よく調和する
「まち」となるよう
願いを込めて
名付けました

1 ゆめづくり地域協働プログラム

■ ゆめづくり地域協働プログラムの概要

ゆめづくり地域協働プログラムとは、

特色ある地域資源を最大限に活用した「自主的で自立した地域活動」を再構築し、地域を包括する住民自治組織（まちづくり委員会など）との協働による「地域協働」のまちづくりを推進する呉市の施策です。

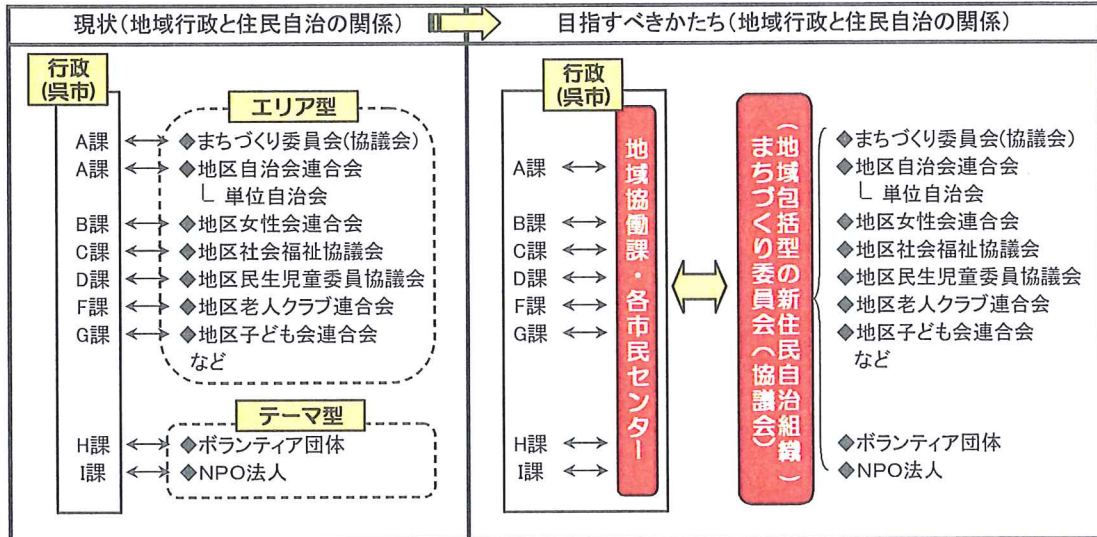
具体的には、次の2つの施策目標を掲げて取り組んでいます。

① コミュニティの自立経営（地域力の向上）

地域住民が誇りを持って安心して暮らせる地域とするため、地域自らが自立した存在として、力を高める必要があります。この地域力の向上を目指します。

② 小さな市役所の実現（協働型自治体への移行）

地域住民が公共的サービスの担い手として、自主的に活動するような地域社会の構築を目指します。



■ ゆめづくり地域交付金

①ゆめづくり地域交付金（地域予算制度）

各まちづくり委員会に用途を限定しない地域予算制度が平成20年度から導入されています。（平成20年度は1団体50万円＝基礎額）

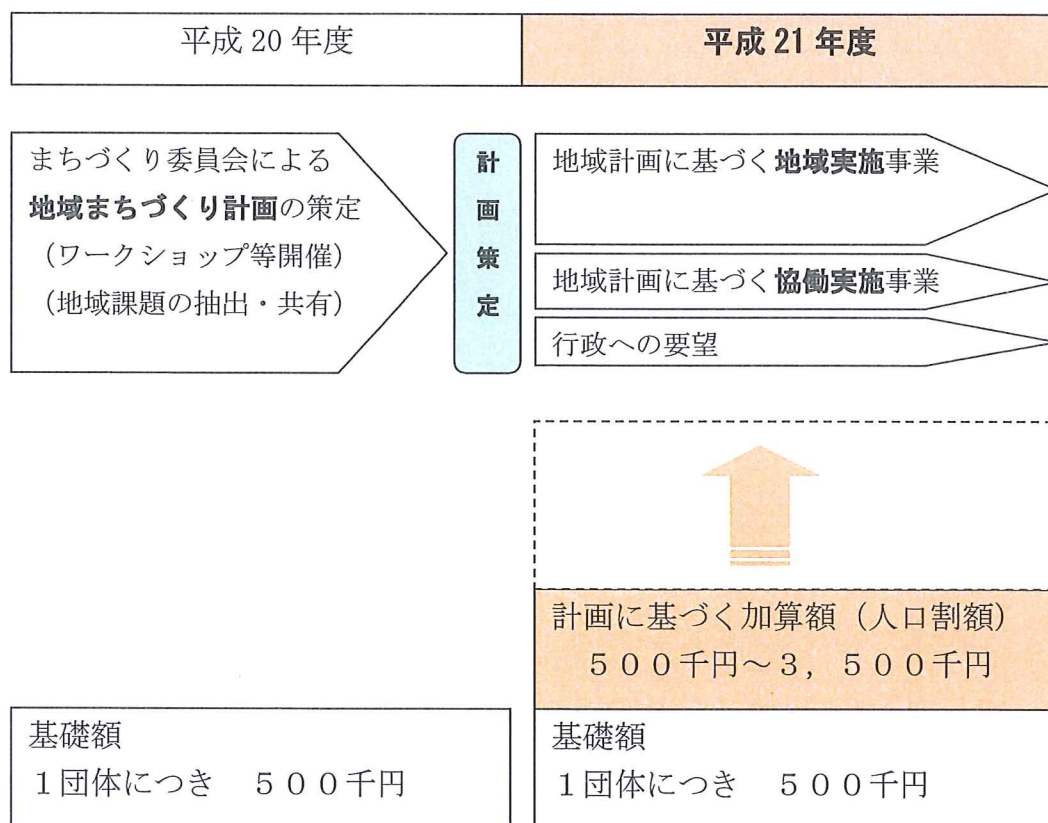
広地区では、広子ども祭，広地区教育祭，広地区クリーン活動への財政支援を行っています。

②地域まちづくり計画の策定

地域まちづくり計画とは、地域住民にとっての目指すべき地域ビジョンや地域の問題・課題の解決方策などが盛り込まれた住民自治計画です。

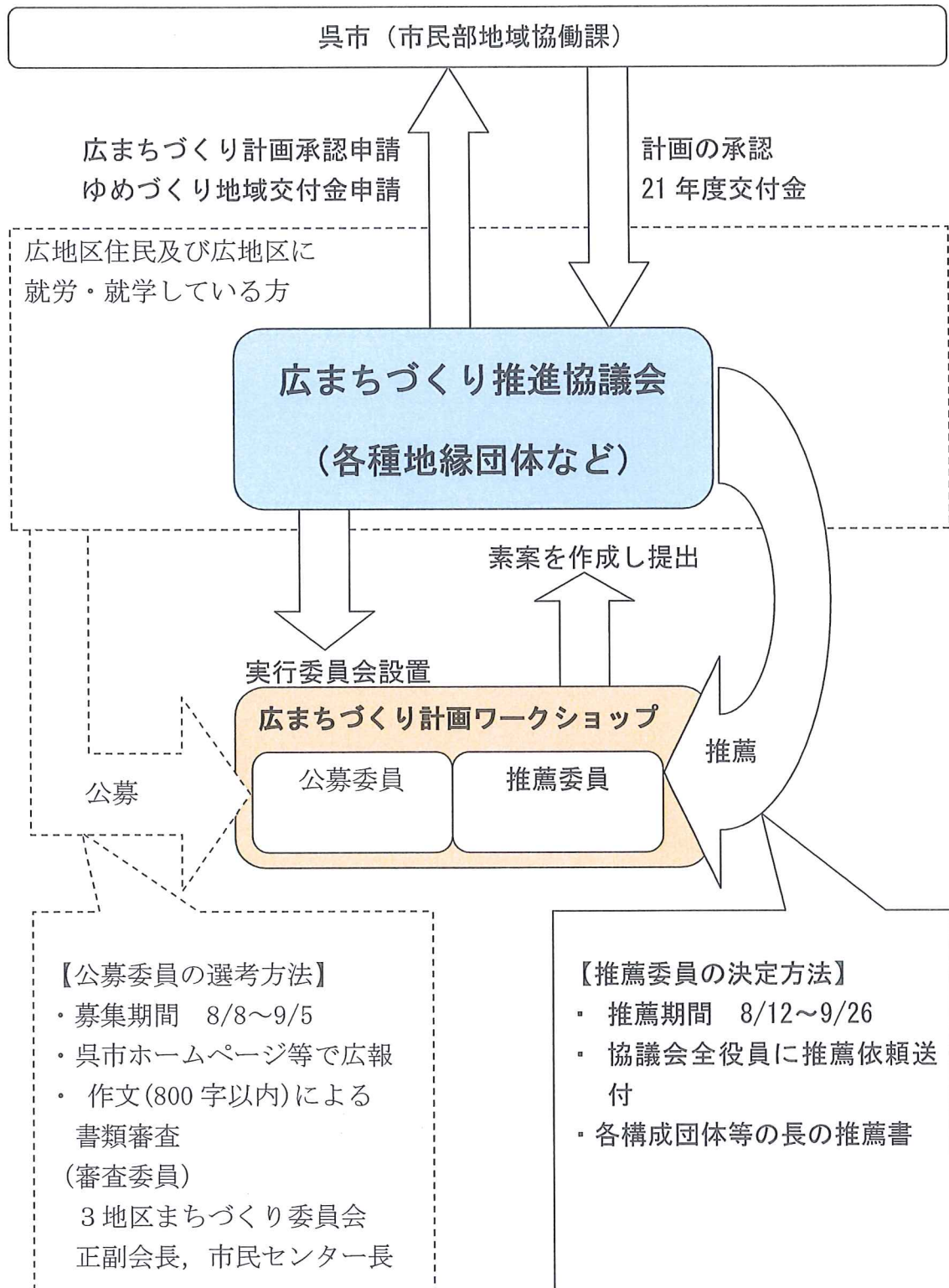
地域の課題を「自分たちで行うもの」，「協働で行うもの」，「行政(呉市)で行うもの」に分け，その解決に向けた役割分担を明確化し，地域ごとのまちづくりの方向性を示したものです。

地域まちづくり計画を策定したまちづくり委員会には，計画実施のための資金として平成21年度から基礎額に人口割額を加算した額が交付されます。



2 広まちづくり計画策定実行委員会

■ 計画策定体制










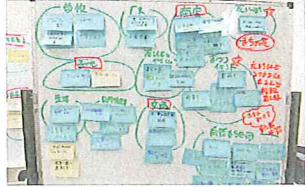




■ 計画策定の経緯

広まちづくり計画策定実行委員会委員の公募・推薦から決定まで

平成 20 年 8 月 10 日	広地区自治会回覧，呉市ホームページ上でプロジェクト チームの募集広報
9 月 26 日	広まちづくり推進協議会構成団体推薦委員 〆切・決定 公募委員選考・決定

広まちづくり計画実行委員会（ワークショップ方式）の経過

第 1 回 平成 20 年 10 月 6 日(月)	<p>「まち資源の脳内調査」 広公民館会議室 19:00～21:00 →計画で活用できる 広のまち資源を洗い出し作業</p>  
第 2 回 11 月 30 日(日)	<p>「広考学① 広のまちをタウンウォッチング」 広地区一円 10:00～15:00 →知っているようで知らない広を再発見するバスツアー</p>  
第 3 回 12 月 14 日(日)	<p>「広考学② 広の歴史を知ろう」 くれ市民協働センター 10:00～12:00 →歴史を紐解き人と人をつなぐためのヒントをさぐる</p>  

<p>第4回 平成21年 1月19日(月)</p>	<p>「課題を抽出・分類しまちづくりの方向性を探ろう」 くれ市民協働センター 19:00～21:00 →伸ばしたいまちの個性と何とかしたいまちの課題を分類し、計画の柱となるキーワードを見つける</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>第5回 2月2日(月)</p>	<p>「課題解決のためのアクションプランを考える」 くれ市民協働センター 19:00～21:00 →できるだけ具体的なプロジェクトを考案し、他のプロジェクトへの吸収や連結など膨らみのある案を検討する</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>第6回 2月16日(月)</p>	<p>「みんなでつくる広のまちづくり提案書(素案)」 くれ市民協働センター 19:00～21:00 →取り組めそうなアクションプランをできるだけ提案し各方針案を実現するためのストーリーを組み立てる</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>3月上旬</p>	<p>広まちづくり計画素案完成</p>

素案から完成まで

<p>3月中旬</p>	<p>広まちづくり推進協議会理事に原案を送付し意見集約</p>
<p>3月下旬</p>	<p>3地区まちづくり委員会会長により、最終案確認・決定</p>
<p>3月末</p>	<p>広まちづくり計画(マーブル・プロジェクト)を呉市長に提出</p>

■ 広まちづくり計画策定実行委員会委員

実行委員長	吉井 光廣	広まちづくり推進協議会会長
副委員長	川本 敏男	広地区老人クラブ連合会推薦
委員	矢口 賢二	公募
委員	谷 真寿美	公募
委員	犬童 公子	広体育協会推薦
委員	松原 貞美	広地区老人クラブ連合会推薦
委員	福間 元一	広東部自治会連合会推薦
委員	山本 剛志	広島国際大学推薦
委員	今中 永美	広島国際大学推薦
委員	吉田 隆之	呉市立広小学校推薦
委員	石橋 幸子	広東部まちづくり委員会推薦
委員	前川真理子	広南部まちづくり委員会推薦
委員	水津あすか	広島国際大学推薦
委員	後藤 圭美	広島国際大学推薦
委員	谷脇 恵子	広東部自治会連合会推薦

(敬称略, 決定順)

3 広地区を取り巻く現状

■ 地域の現状と課題

明治4年、廃藩置県により広島県賀茂郡広村となり、明治43年には内務省から模範村として表彰を受けた歴史を持つ私たちのまち広は、「教育第一」を村是に教育振興を大きな目標に掲げ、地域づくりを行ってきたまちです。

また、都市基盤整備の面においては、2つのJR駅、中心部には国道の結節点があり、西北部では東広島呉道路のインターチェンジの建設やバイパスとなる広第2大橋（仮称）の建設など、交通網の整備が急速に進み、住環境が格段に向上しつつあります。

しかし、駅・国道周辺のマンションの建設ラッシュなど都市化が進むに連れて、従来から地域に根付いていた住民が相互に協力し合う「共助」システムが次第に機能しにくい状況になってきたことも事実です。



このことは、そこに暮らすものの便利さが向上する一方で、地域内でお互い様の気持ちが薄れ、個人の要求やニーズをそのコミュニティだけでは受け止められない状況を生み出してきています。

したがって、かつて地域一丸となってまちづくりに取り組んでいた時代にはあった、住民相互の思いやりや先駆的な住民自治を再生させ、誰もが「広は良い所

だ」と言えるまちにしていくことはこの地域の大きな課題です。

幸い、広まちづくり推進協議会を構成する団体には従来からまちづくりの舵取り役を担ってきた地縁団体のみならず、地域の保育所、幼稚園から大学までが参加しており、何より他の地域に比べ若い世代が集まっているため活気があります。

また、東西に連なる多くの企業は、まちづくりという視点で見ても貴重な人材の宝庫であり、企業のCSR活動や個人の地域活動を通じて、リタイア前からのまちづくり参画を支援する必要があると考えます。

さらに、呉市内で特に年少人口の多い地域である広の強みは、子育て支援セ



ンターひろひろ・ば、保育所、幼稚園、小学校、中学校など、子育ての各ライフステージで、新しい人間関係を築き、まちづくりの芽となる新たなコミュニティをつくることのできる世代がこの地域にはひしめいているということでもあり、今後まちを動かす原動力となる様々な可能性を秘めています。

1 面積(平成 19 年 10 月 1 日現在)

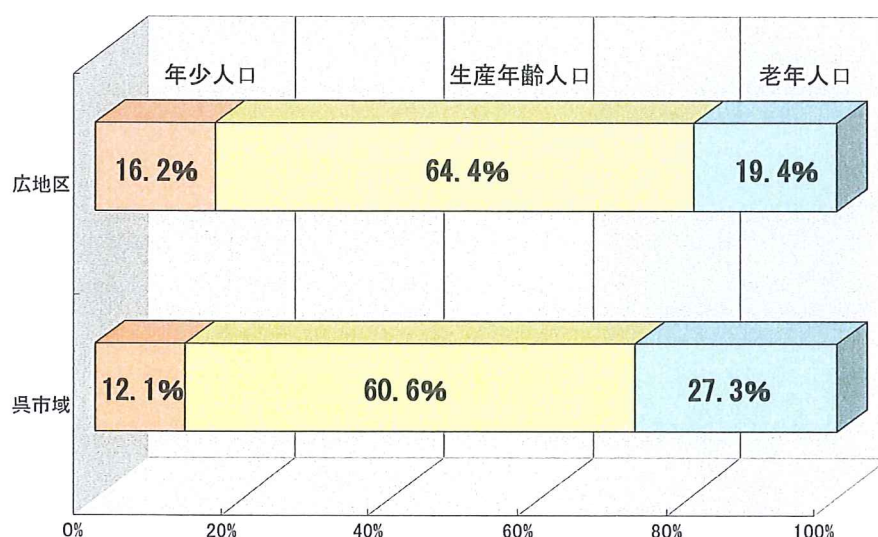
区分	呉市域	広地区
面積	353.74 km ²	32.73 km ²

2 世帯数・人口(各年 3 月末現在)

(単位:人)

区分	呉市域		広地区	
	世帯	人口	世帯	人口
20年	111,295	247,881	19,368	45,654
19年	111,055	249,968	19,117	45,472
18年	110,965	252,325	18,827	45,198
17年	110,577	254,348	18,797	45,403
16年	89,100	203,411	18,631	45,243

3 年齢(3区分)別人口(平成 20 年 3 月末現在)



区分	呉市域	広地区
年少人口(0歳~14歳)	30,416人(12.1%)	7,562人(16.2%)
生産年齢人口(15歳~64歳)	152,177人(60.6%)	30,049人(64.4%)
老年人口(65歳~)	68,415人(27.3%)	9,032人(19.4%)

4 計画の基本的方向

■ 計画の目的

「広まちづくり計画」(以下、「本計画」という。)は、広地区住民にとっての目指すべき町の姿や地域課題の解決方策などが盛り込まれた住民自治計画です。

この計画では、地域の課題を「地域で行うもの」「協働(地域と行政で協力)で行うもの」「行政で行うもの」に分け、解決に向けた役割分担を明確にした上で、地域が主体的に取り組むものについて、その方向性や具体策を示すものとして策定したものです。

■ 計画の期間

本計画は、平成21年度を初年度とします。

また、10年後の広地区のあるべき姿を将来像として策定を行ったため、今回のまちづくり計画の期間は平成21年度から平成30年度までとし、平成30年度までの間で必要な見直しを行います。

さらに、単年度ごとの事業内容については、その前年に事業計画を策定し実施することとします。

■ 計画の対象

本計画では、広地区に住み、又は通勤・通学する方すべてを対象者とします。

■ 計画の位置づけ

本計画は、呉市が策定する(仮称)第2次呉市市民協働推進基本計画に包括される、ゆめづくり地域協働プログラムに規定される広地区の「地域まちづくり計画」として位置づけられています。

5 実施計画

■ まちづくり方針

私たちは広のまちづくりを推進するために、6つの方針をかかげます。

- ① 協働のまちづくり
- ② まちを大好きになる活動
- ③ 自然豊かなまちづくり
- ④ わたしのふるさとづくり
- ⑤ 安心安全なまちづくり
- ⑥ まちの情報発信

■ スケジュール

事業計画は、個性豊かな広のまちの特性を大切にし、多様性を受け入れ人々が程よく調和し活力を生み出す住民主体のまちづくりを目指すもので、短期・中期・長期と社会環境を考慮しながら段階的に実施して行きます。

●短期：平成 21～22 年度●

場づくり・人づくり・コミュニティの基盤づくり

まちづくり創世記と位置づけ、基礎づくり期間とし、まちづくり活動の拠点となる場づくりを主要プロジェクトとして展開し、さらに地域の魅力再発見事業や身近な道路や公園等の整備事業の実施、まちづくり調査研究助成などを通じてまちづくりを担う人材発掘と育成（人づくり）を推進します。

●中期：平成 23～25 年度●

地域コミュニティの活性化と充実

平成 23～25 年度までの中期間は、地域の多様性を活かした事業により、これまでに確立した場・人・コミュニティを活用して、地域の連携や地域コミュニティの活性化を図り、より積極的なまちづくりに務める事業を展開します。

●長期：平成 26～30 年度●

未来へのバトン

平成 26～30 年度までの期間は、中期で実施した事業をさらに展開しつつ、未来になくための新たな計画づくり「次世代のコミュニティリーダーの育成やバトンタッチ」を念頭においたまちづくりを推進する事業を実施します。

■ 地域を支える基本事業

広まちづくり推進協議会は、これまでに広のまちづくりとコミュニティを育ててきた事業のさらなる発展をめざし実施・支援します。

● 広子ども祭（5月）

広地区伝統の春の「広子ども祭」。1,500名を超える参加者で賑わいます。



● 広地区教育祭（11月）

「学ぶ・創る・楽しむ 夢が広がる」をサブテーマに、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事のひとつです。



●広地区クリーン活動（12月）

小中学生が中心となって、地域の大人たちとともに公園、道路、河川敷などみんなでする場所の一斉清掃を行います。



●広市民センターロビーコンサート（年3～4回）

広市民センターを市民の憩いの場、幅広い世代が交流できる場所として活用し、身近に感じてもらうと企画をして好評を得ております。



■ 広まちづくり計画

広まちづくり計画は、まちづくり方針をよりどころとして、10年後の広地区のあるべき姿を思い描きながら、私たちにできる必要な取組をまとめたものです。

平成21年度を初年度とし平成30年度までの間に実施します。また社会環境の変化などを考慮して柔軟に必要な見直しを行い、より効果のあるまちづくりの推進を図ります。

① 多様多彩な主人公たち（市民・団体・地域）の連携と協働による調和と創発のまちづくり

職・住・遊・学環境にめぐまれ発展を続けている広まちは、個性ある地域と人々がまちづくりへの参画の可能性を持っています。

私たちは、互いの理解を深め調和と創発のまちづくりをめざします。

- まちづくりの人材掘り起こし
- 国際交流
- 教育機関や企業との連携
- まちづくり活動拠点整備

② 大好き広まち！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり

歴史ある地域、大切にしてきた祭・芸能・文化、日常では商店街での交流などコミュニティを育んできた様々な取り組みをこれからも守り育てる人と地域をつくります。合言葉は「大好き広まち！」。

- まちの再発見
- 特産品の開発（広ブランド）

③ 四季の風がそよぐ豊かな自然環境のまちづくり

広まちは、二級峽を頂点に野呂山・灰ヶ峰に挟まれ瀬戸内海に広がるデルタの中で豊かな森・川・海が育てられた四季折々の景観に恵まれた地域です。

私たちは、自然環境を大切に活用したまちづくりを推進します。

- 豊かな観光資源の活用
- 遊休地や水辺の道の環境整備

④ 子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり

広は村是として「教育第一」をかかげることで、今日の発展の基礎を築いてきました。また「地域づくりはふるさとづくり」に他なりません。未来の広まちを託す子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを行います。

- 世代間交流
- 子どもが安心して遊べる場所づくり

⑤ みんなに便利で安心安全な生活空間のまちづくり

比較的自然災害の少ない地域ですが、高齢化社会の到来も想定され、だれもが安心安全な地域をつくりまします。

また、道路網や公共交通にも恵まれた広まちでは、反面交通災害の懸案も絶えません。私たちはみんなにやさしい生活空間づくりをめざします。

- 災害時の弱者対策
- 交通安全の推進
- 自転車のマナーアップ

⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり

多くの市民の参加を促して協働でまちづくりを推進するためには、まずは地域の魅力を情報メディアを利用して様々な層の人々へ楽しく伝える事が重要だと考えます。情報を共有し、映像・情報誌・ウェブサイト等として発信していきます。

- 広まちの記録づくりと発信
- 情報誌の発行
- ウェブサイトの充実

6 事業計画

前述した6つのまちづくり計画を具体的に展開する方策について、計画策定委員会では様々なアイデアを出し合い、事業内容についてディスカッションを行いました。それを一覧表にまとめたものが、プロジェクト・アイデア一覧表です。

さらに、計画の具体化のため、平成21年度に取り組む内容として、従来から取り組んできた「地域を支える基本事業」と、たくさんのアイデアを組み合わせプロジェクトとして再構成した「新規事業」をプロジェクトシートにまとめました。

当協議会は、このプロジェクト・シートに書かれた事業を中心に、地域住民によるまちづくりを推進して参ります。

■ プロジェクト・アイデア一覧表

広まちづくりワークショップで提案されたまちづくりのアイデアを整理しまとめたものです。このプロジェクト・アイデアは、今後、広のまちづくり事業を展開する中で活用される場合があります。

該当方針	プロジェクト	スケジュール	場所	事業目的	事業内容	事業主体・協力予定等
①	国際交流フェスタ	年に1回開催	商店街	国際理解	広地域には外国籍が多く住まわれていて私たちに共に生活しています。色々な国の文化生活について知り交流をふかめる。ふれあいコンサート、歌・踊り、スポーツ、食フェスタ等、フットサル土曜夜市との連携強化。	ボランティア団体、国際交流広場、就労企業、学校
①	住民主体のまちづくり“我が町広”	2009年4月～2010年3月	全城	住民自治意識を育てるために、市民協働のまちづくりは住民(市民)の自治なくしては成り立たないため。	各自治会単位で、自治会役員、PTA、民生委員を中心に自分たちの地域の特徴、自慢できること、困っていること、夢を語り合ってもらい文章化してみる(この時、住民の声を聞く)この報告をまとめ報告書を作成し、地域の交流を図る。住民自治と行政の連携(協働)のテーマでシンポジウムを開く。シンポジストは住民自治のバイオニア安芸高田市川根地区の辻駒さんと元我孫子市長の福島さんの対談で。	自治会他
①	場づくり「地域活動の拠点」整備事業	2009年6月オープン予定!	商店街	まずは広く市民に「広まちづくり協議会」の浸透をはかる。関係者をひろげる仕掛けづくり。	当初は、公民館活動などの発表の場としてギャラリーとする。地域の作家の作品も展示(有料・収益事業)。2年後をめどに、まちづくり事務所として多機能化。	商店街、文化サークル、作家
①	広町・再発見プロジェクト「考広学」～行ってみよう。見てみよう。～	3ヶ月に1回のペース	広町～全城(初年度:南部)	広の住民自らが、知らない場所を見に行き、愛着を!	タウンウォッチング、特徴的な街並みがのこる小坪や長浜でタウンウォッチングを開催。企業探検:新日本造機、寿工業、ミツコ四季毎に、吉松山、小滝、二級峽、三角浜を探検。東広島道路、工事場所見学、ゴミ処理場、下水処理場	自治会、郷土史家、地域企業、NPO
①	チャレンジ! 私たちのまちづくり企画	年5件程度	全城	広町で活動する団体等が、広く地域の賑わいを創出する事業や市民協働を推進する事業を展開する場合に支援することで市民に多様なサービスを提供する。	1件あたり3万円まで、総予算15万程度。各協議会による推薦と申請と審査を行う。例)告知や準備も自ら行う商店街でアマチュア吹奏楽団のコンサート。例)大学生が遊歩道を利用して市民との交流を仕掛けるようなイベント(文化祭)を行う。	広地区で活動する諸団体等
①	まちづくり調査研究助成	申請:6月、報告:3月	全城	新しいアイデアや提案やまちの資源を蓄積しデータベース化	・大学、高校が広で調査研究する場合に助成・成果をDBとして積み上げて自由に活用	国際大学、商業高校他
②	商店街にマイクロバスを!		中心エリア	商店街の賑わい創出、市民の利便性の向上。	駅～主要なバス停～商店街～病院を回遊する路線。	交通事業者、関連施設
②	スツール・スクール	2009年4月～2010年3月	商店街	商店街が「つなぐ」地域コミュニティづくり	販売時などに当たり前に行っているアドバイスや智慧の伝授をメニュー化することで、これまでに商店への来訪のきっかけをなくしていた層への来訪の仕掛けづくりをおこなうと共に、店主のまちづくり意識の向上をはかる。店主がキーパーソンとなり地域コミュニティづくりのきっかけを期待する。	商店街
②	ちょっと寄ってみたい商店街		商店街	商店街の集客アップ	商店街の現状を分析し、現在の利用者へは利便性を提供。さらに新しい利用者も増やす企画を考える。	商店街
②	広の名物フェア		全城	まずは、リストアップすること! それから、賑わいの創出	おいしい物、おもしろい人、とりえず名物を集める。祭りを一緒にするとか、広公園で花見の時に!土曜夜市で!	商店街、市民公募
②	広町自慢をつくらう計画～ブランドづくり～		全城	広の歴史や文化、特産品から新しい広の自慢をつくる。	広の歴史やまつりなどのマップ 広の特産品を商店街で販売 農産物などの販売や特色あるブランドづくり	事業者、農業(JA)
②	復刻版 新しい広の数え歌		全城	広まちを知り学ぶ数え歌	昔、歌い継がれていた数え歌をつくる。	公募イベント

該当方針	プロジェクト	スケジュール	場所	事業目的	事業内容	事業主体・協力予定等
③	広まち＊花まちプロジェクト		全域 (初年度:西北部)	花を通じて交流を円広める	ステップ1:花＊花会議 ステップ2:花コンテスト、種苗マーケット、植え方講座 ステップ3:花市、木市 ※より活動が盛んな西北部から仕掛けられるのでは？	ボランティア団体、小学校
③	野菜作りプロジェクト			食育の推進。遊休地の活用。里山の風景を守る。都市と農村の交流。	遊休畑を貸し出して野菜づくり。	地主、JA、
④	学生向けの広町マップ			大学「生」との連携。特に入学時に！	4月に新しく広で生活をスタートさせる学生や若者に向けて「〇〇は〇〇で買える」「飲みならどこ」などの情報をマップで提供する。入学時は買いそえるものも多い。	大学
④	芝生広場づくり			子どもが自由に安心して遊べる場所づくり	校庭やグラウンドを芝生化する。給食をみんなで食べ、コミュニケーションがとれる。	子供と
④	商店街で校歌BGM		商店街	話題性。コミュニケーションのきっかけづくり。	小学校等の校歌はその町の風光明媚な景色や特色を歌詞に歌っているものも多く、かつ、卒業生が世代を越えて懐かし口ずさむメロディである。 商店街において、BGMとしてインストゥルメンタル(器楽曲)としてさりげなく流すことで、市民のコミュニティを育むきっかけとする。	小学校、商店街
④	広商店街でスポーツ大会をやっちゃおう	月1回	商店街	商店街のにぎわいをつくりながらまちの活性化	バスケット、フットサル、マラソン大会などのスポーツを商店街をフィールドに開催する。	トップスなど
④	広の昔遊びプロジェクト		全域	伝承。世代間交流。	広に伝わる昔の地の遊びを伝える。他の地域とどうちがうか？	
④	広町カルタ		全域	地域資源の再発見	地域資源を収集するために公募であつめる。	
⑤	災害時の弱者対策	随時	全域	安心安全なまちづくり	障害者・高齢者など社会的弱者の居住状況を把握し、災害時に支援する仕組みづくり。 ★呉市が既に取り組んでいるとのこと。	民生委員、社会福祉協議会、自治会
⑤	自転車で広町のあっちこっち		全域	広の隠れた利便性をPRするとともに、自転車マナーの向上。	平地で広域の広町を快適に移動できる自転車の活用 自転車ベースのタウンガイド、グルメ、お店ガイド、ヘリテージ	自転車店等
⑤	市民救命士率めざせ80%(本当は100%めざしたいけど...)	定期的に随時	全域、消防署	安心安全なまちづくり。助け合い。	市民の80%が救命講習・AED講習会を受講。AEDマップ。	消防署、赤十字
⑤	広大橋左側通行		全域、国道185号	放置自転車対策。マナーアップ。	新広駅の自転車があふれている＝中央地区まで自転車で危険＝広大橋が危ないから！ 狭い広大橋を一方通行にすることでスムーズにわたれる。	市民
⑤	レンタサイクル		全域、駅前	放置自転車対策。	乗り捨てできる自転車があるといい 交差点→広商店街→広駅	シルバー人材センター
⑥	公認サイト(まちづくり推進協議会が認めるサイト)	年1回認定式	全域	広く市民との連携による情報発信。	市民が自発的に主宰している良好な広の情報発信しているウェブサイトをまちづくり協議会として認定。	ウェブサイト主宰者
⑥	住民を対象としたふるさと再発見プロジェクト		各自治会	まち資源の収集	自治会エリアでの小規模な再発見イベントを開催。 広域では埋もれてしまいがちな情報を拾う。	郷土史家、主
⑥	通りの名前募集事業		全域	特徴のある通り愛称をつけて親しみをもたせる	愛称あるまちをめざして通りの名前をつける。 共通の名称でまちづくりの基礎を育てる。 看板づくり、マップ作成、樹名板の設置	公募
⑥	広のタウン誌	毎月	全域、回覧に加え店や駅等で配布	情報の共有と新たな人材の参画	フリーペーパーのようにオシャレな情報誌をつくることで若年層がまちづくり情報にふれる機会をつくる。 公民館便りなども掲載する。ボランティアの活動。各地区の行事のお知らせ・報告。学校の紹介(自治会、女性会でもOK)。季節のいいところ(桜とか...)。事業所訪問とか	
⑥	ひろまちニュースネットワーク「HNN」	通年	全域	町の画像データベース。記録。	ビデオ番組づくり。 市民による広町の記録づくり。 支所に設置予定のモニターを活用して放映。	ビデオ制作が趣味の市民。
⑥	広町のパンフレット	編集:2009年4月～8月 発行:9月	全域	コミュニティへの参加をそくす	広町初心者・新住人へ情報提供。 (1)観光、(2)食、(3)歴史 パンフレットを、英語、ロシア語、ポルトガル語、中国語などでも表記してはどうか？	
⑥	広町ちやりんこガイド		全域	特化した情報の提供	自転車乗りへ特化した情報提供。 特定の市民へ特化した情報提供も検討できる 「広町あかちゃんガイド」「広町おばちゃんガイド」「広町もったいないガイド」	

※該当方針の番号は別表の「まちづくり方針」の該当番号

テーマ・分野	地域振興計画
地域	① 多様な多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり
商店街・まつり	② 大好き広町！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり
自然	③ 四季の風がそよぐ豊かな自然環境のまちづくり
子ども(未来へ)	④ 子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり
交通	⑤ みんなに便利で安心安全な生活空間のまちづくり
情報	⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり

■ プロジェクトシート(平成21年度分)

このプロジェクトシートは、平成21年度に当協議会が取り組む事業についてまとめたものです。

従来から取り組んできたものを「地域を支える基本事業」とし、参加者、参画団体等の拡大や内容の充実に努めます。

また、今回の計画策定作業の過程で新しいまちおこし事業として取り組もうとするものを「新規事業」とし、新しい視点と新しい参画者を加え、積極的にまちづくりを推進していきます。

事業区分	地域を支える基本事業①
該当するまちづくり計画	④子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり
事業名称	広子ども祭
事業目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。
事業内容	毎年5月上旬の日曜日に開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・広商店街での交通安全パレード ・広公園及び白岳小学校での遊び広場開設など
事業主体	広子ども祭実行委員会(広まちづくり推進協議会)
協力団体	広地区で活動する諸団体等(主管:広子ども会連合会)
事業場所	広公園, 白岳小学校
スケジュール	1 実行委員会:2月～ 2 開催日:ゴールデンウイーク明け最初の日曜日

事業区分	地域を支える基本事業②				
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり ② 大好き広町！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり ④ 子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり				
事業名称	広地区教育祭				
事業目的	「学ぶ・創る・楽しむ 夢が広がる」をサブテーマに参加されるお年寄りまで誰もが地域に愛着と誇りを持ち、未来への可能性が大きく広がるきっかけとなるよう、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事のひとつ。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の文化祭ウィーク <ul style="list-style-type: none"> 子ども写生大会 広地区文化団体連合会を中心にした発表や作品展 幼稚園～高校までの作品展 ・教育祭ウィーク <ul style="list-style-type: none"> 各種団体主催行事 公民館定期講座発表会, 作品展 ブラスバンド演奏 ウォークラリー大会 教育功労者表彰式 文化講演会 広町民スポーツ大会など 				
事業主体	広地区教育祭実行委員会(広まちづくり推進協議会)				
協力団体	広地区で活動する諸団体等				
事業場所	広市民センターほか				
スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;">1 実行委員会:6月～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 開催時期:11月</td> </tr> </table>		1 実行委員会:6月～		2 開催時期:11月
	1 実行委員会:6月～				
	2 開催時期:11月				

事業区分	地域を支える基本事業③
該当するまちづくり計画	④ 子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり ⑤ みんなに便利で安心安全な生活空間づくり
事業名称	広地区クリーン活動
事業目的	小中学校を中心とした年末一斉清掃活動を、地域の大人と一緒に実施することで、世代間交流を活性化し、まちの環境美化意識を啓発する。
事業内容	各学校(小中一貫教育校などは合同)が企画した清掃コースや集積場所の企画を基に、地域団体を通じた呼びかけに応じた地域の大人たちが清掃活動に参加する。
事業主体	広地区クリーン活動実行委員会(広まちづくり推進協議会)
協力団体	広地区内の小中学校, 広地区で活動する諸団体等
事業場所	広地域全域
スケジュール	1 12月第一水曜日

事業区分	地域を支える基本事業④
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり
事業名称	広市民センター ロビーコンサート
事業目的	東部地区の拠点施設であり、コミュニティスペースとして設置した広市民センターを住民交流の場、また憩いの場とするため、ロビーコンサートを開催する。定例化し、他の事業とタイアップさせることで、音楽を通じた多世代の地域間交流を実現する。
事業内容	市民ギャラリーに特設ステージを開設し、市内在住の音楽家にボランティアで演奏をお願いする。 主に図書館が休館日となる木曜日の昼休みにセッティングする。
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	広地区で活動する諸団体等, 市内在住の演奏家
事業場所	広市民センター1F 市民ギャラリー
スケジュール	1 四半期に1回の開催(年4回)

事業区分	新規事業①
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	チャレンジ！私たちのまちづくり企画(まちづくり調査研究助成)
事業目的	広町で活動する団体等が、広く市民の参加をそくして地域の賑わいを創出する事業や市民協働を推進する事業を展開する場合等に広まちづくり推進協議会が支援することで市民に多様なサービスの提供と新しいまちづくり参加者の創出を図ることを目的とする。
事業内容	一般企画は、1件あたり原則5万円まで。選考にあたっては、協議会の推薦又は申請・審査を行う。 例) 告知や準備も自ら行う商店街でアマチュア吹奏楽団のコンサート。 例) 大学生が遊歩道を利用して市民との交流を仕掛けるようなイベント(文化祭)を行う。 例) 大学、高校が広町で調査研究する場合に助成。成果を「ひろまちの未来設計図」としてまちを刺激する新しい智恵・提案として市民に公開提供する。
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	広地区で活動する諸団体等
事業場所	広地域全域
スケジュール	1年12件程度

事業区分	新規事業②
該当するまちづくり計画	② 大好き広町！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	広町・再発見プロジェクト「考広学」～行ってみよう 見てみよう～
事業目的	広の住民自らが、知らない場所を見に行き、愛着を！
事業内容	<p>まちの歴史や文化を再発見する地域発見イベント「広町タウンウォッチング」を開催。初年度は、特徴的な街並みがのこる小坪や長浜でタウンウォッチング行い。地域づくりの基礎となる地域資源を見つけるヒントとする。</p> <p>広地区には、日本を代表するような企業や特筆すべき技術や商品をつくりだす企業が多い。これらの企業や工事現場や公共施設等を対象とした「広町社会科見学会」を実施する。企業と市民の相互理解のきっかけとし、ひいては地域協働への協力を誘う。</p> <p>「広町自然観察会」として自然豊かで観光景勝地としても有望な大空山、吉松山、小滝、二級峡、三角浜などを探検。</p> <p>また、事業を通してアマチュアビデオ作家に撮影を依頼し、「私のまちの番組」として記録すると共に新年度市民センター内に設置を予定しているモニターにて映像を活用することで、広く市民に地域の情報の共有を図る。</p>
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	呉市、企業、自治会、郷土史家、NPO
事業場所	広地域全域
スケジュール	1年4回程度

事業区分	新規事業③
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	まちづくり活動拠点整備事業
事業目的	広く市民に「広まちづくり推進協議会」の浸透をはかる。関係者をひろげる仕掛けづくり。
事業内容	<p>呉市では、市民協働のまちづくりをめざし、各地でまちづくり推進協議会等を組織し、新たな自治の展開を目指し、市制だよりや様々な広報が行われているが「まちづくり推進協議会」の存在や役割を広く市民に十分に知らしめるに至っていないと考える。</p> <p>そこで、人通りの多い商店街に看板を出し活動を印象づけることで、市民の関心を得つつ、まちづくりの新たな担い手や協力者の出現をねらう。</p> <p>初年度は、公民館活動などの発表の場としてギャラリーを中心に展開し、地域の作家の作品も展示(有料・収益事業)。一部スペースには「地域づくり情報掲示板」を設置し協議会の情報やボランティア団体等の情報も発信する。また、協議会の連絡先や事業実施時の事務所としても利用することで、施設の拠点性を高めつつ、2011年をめどに、常駐スタッフを配置した「まちづくり事務所」としての多機能化をめざす。</p>
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	商店街、文化サークル、作家、NPO
事業場所	商店街内の空き店舗が候補
スケジュール	1 開設準備期間:4月～5月 ※市場調査含む 2 試行運営期間:6月～8月 3 一般運用開始:9月～

事業区分	新規事業④
該当するまちづくり計画	③ 四季の風がそよぐ豊かな自然環境のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	私たちの道整備事業
事業目的	生活の中で利用する公共の場でもある「身近な道路」から地域づくりを始めることで、まちづくりへの参加を促すきっかけとする。
事業内容	<p>●「通りの名前」募集事業 ウォーキングロードや散歩道や生活の道など様々に利用されている道に、さらなる魅力アップをめざし通りの名前をつける。共通の名称でまちづくりの基礎とする。なお、「ふれあい通り」「国際通り」など既に愛称のある通りもある。 市民公募のコンテスト形式で実施し、選考された道や名称を記載した看板づくり、マップ作成、並木道には樹名板の設置も検討する。</p> <p>●「私たちの道」重点整備事業 年に1路線程度を選び、「清掃を行う。花を植える。安全点検をする」など市民参加の事業を展開する。地域の連携を再認識することを目的に行う。 【初年度整備案】 ○広大川水辺の道市民整備事業 ・「広大川水辺の道」を定めるワークショップを開催。経路をあらわす地図を作成。 ・看板(経路・安全)や親しみある個性的な距離案内標(キロポスト)を設置する。 ・水辺の道沿線および関係する市民のゆるやかなネットワークを構築する。 ・道路およびあずまや整備案などを計画する。 ○シンボリックなイルミネーション事業 ・水辺に映える場所を選定し、こころを豊かに楽しくするイルミネーション(ソーラー発電)を行う。</p>
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	名称は市民公募。大学。有識者による選考委員会
事業場所	広地域全域
スケジュール	1 2009年4月～2010年3月 2

■プロジェクトシート（平成22年度分）

このプロジェクトシートは、平成22年度に当協議会が取り組む事業についてまとめたものです。

広まちづくり計画では、平成21年度から平成22年度までの2年間で「場づくり、人づくり、コミュニティの基盤づくり」の年と位置づけ、まちづくりに関心のある人材発掘や人材育成を推進していくことを短期目標として掲げています。

今年度は、広く地域に人材を求めることを目的として、特に20代から40代の次代の広まちを担っていく世代がまちづくり参画への第一歩を踏み出せるよう、また、当協議会構成団体が既存のまちづくり事業以外にも新しいアイデアで地域興しに取り組んでいただけるよう、参画・参加の機会を数多く提供できる内容にしました。

事業区分	地域を支える基本事業①
該当するまちづくり計画	④子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり
事業名称	第37回広子ども祭
事業目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。
事業内容	毎年5月上旬(ゴールデンウィーク明けの日曜日)に開催。 ・広商店街での交通安全パレード ・広公園及び白岳小学校での遊び広場開設など
事業主体	広子ども祭実行委員会(広まちづくり推進協議会)
協力団体	広地区で活動する諸団体等(主管:広子ども会連合会)
事業場所	広公園、白岳小学校グラウンド
スケジュール	1 開催日:22年度は5/9 2 実行委員会:第1回 3月上旬 第2回 4月下旬

事業区分	地域を支える基本事業②
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり ② 大好き広町！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり ④ 子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	第62回広地区教育祭
事業目的	「学ぶ・創る・楽しむ 夢が広がる」をスローガンに、参加される子どもからお年寄りまで誰もが地域に愛着と誇りを持ち、未来への可能性が大きく広がるきっかけとなるよう、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事のひとつ。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の文化祭ウィーク <ul style="list-style-type: none"> 子ども写生大会 舞台発表や作品展 幼稚園～高校までの作品展 ・教育祭ウィーク <ul style="list-style-type: none"> 各種団体主催行事 公民館定期講座発表会、作品展 ブラスバンド演奏 教育功労者表彰式 文化講演会 広町民スポーツ大会など
事業主体	広地区教育祭実行委員会(広まちづくり推進協議会)
協力団体	広地区で活動する諸団体等
事業場所	広市民センターほか
スケジュール	1 実行委員会:第1回 7月～8月 ほかに1回を予定 2 開催時期:11月

事業区分	地域を支える基本事業③
該当するまちづくり計画	④ 子どもの笑顔があふれ、ふるさとの思い出を刻むまちづくり ⑤ みんなに便利で安心安全な生活空間づくり
事業名称	第7回広地区クリーン活動
事業目的	小中学校を中心とした年末一斉清掃活動を、地域の大人と一緒に実施することで、世代間交流を促進し、まちの環境美化意識を啓発する。
事業内容	各学校(小中一貫教育校などは合同)が企画した清掃コースや集積場所の企画を基に、地域団体を通じた呼びかけに応じた地域の大人たちが清掃活動に参加する。
事業主体	広地区クリーン活動実行委員会(広まちづくり推進協議会)
協力団体	広地区内の小中学校、広地区で活動する諸団体等
事業場所	広地域全域
スケジュール	1 実行委員会:10月下旬 2 開催時期:12月第一水曜日(22年度は12/1)

事業区分	地域を支える基本事業④
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり
事業名称	広市民センター ロビーコンサート
事業目的	呉市東部地区の拠点施設であり、コミュニティスペースとして設置した広市民センターを住民交流の場、また憩いの場とするため、ロビーコンサートを開催する。 これを定例化し、他の団体事業とタイアップさせることで、音楽を通じた多世代・地域間交流を実現する。
事業内容	市民ギャラリーに特設ステージを開設し、呉市にゆかりのある音楽家などにボランティアで演奏をお願いする。 主に図書館が休館日となる木曜日の昼休みや夕方などに開催する。
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	呉市出身や呉市在住など呉市にゆかりのある演奏家など
事業場所	広市民センター1F 市民ギャラリー
スケジュール	1 年3～4回程度(5月、8月、10月、12月を計画中)

事業区分	継続事業(21年度～)
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	私たちのまちづくり企画助成
事業目的	広で活動する団体等が、広く市民の参加を促して地域の賑わいを創出する事業や市民協働を推進する事業を展開する場合等に広まちづくり推進協議会が支援することで市民に多様なサービスの提供と新しいまちづくり参加者の創出を図ることを目的とする。
事業内容	<p>広地区内で一般公募し、広地区に拠点を置き活動する団体等を対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1件あたり20万円以内とする。 ・審査・交付決定を行うための選考委員会を設置する。 ・応募後に選考会を開催、応募団体等によるプレゼンテーションを行い審査・決定する。 ・事業完了後に発表会も実施する。 <p>※22年度はまちづくり方針に沿った事業案を採択し、助成金についての予算決算書類の提出を義務付ける。</p>
事業主体	まちづくり企画助成選考委員会
協力団体	広地区で活動する諸団体等
事業場所	広地域全域
スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 企画募集(～8月末) 2 審査(9月上旬) 3 助成(9月中旬)

事業区分	継続事業(21年度～22年度)
該当するまちづくり計画	② 大好き広町！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	広まち・再発見プロジェクト
事業目的	広の住民自らが、知らない場所を見に行き、愛着を持つことのできる機会を提供する。
事業内容	まちの歴史や文化を再発見する地域発見イベント「広まちタウンウォッチングツアー」の第3弾以降を開催。 広地区には、日本を代表するような企業や特筆すべき技術や商品をつくりだす企業が多い。これらの企業や工事現場や公共施設等を対象とした「広まち社会科見学会」を実施する。企業と市民の相互理解のきっかけとし、ひいては地域協働への協力を誘導する。 ほかに「広まち自然観察会」として自然豊かで観光景勝地としても有望な大空山、吉松山、小滝、二級峡、三角浜などを探検。 また、地域が誇れる資源として新しい住民にその素晴らしさを伝えていくため、インターネットで配信できる動画作成にもチャレンジする。
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	各種団体、呉市、企業、郷土史家、NPO、広まちづくり推進機構マーブル・クラブなど
事業場所	広地域全域
スケジュール	1 開催時期:第1回 10月 (第2回、第3回は11月以降で未定) 2 動画配信(2月末を目標に取材を進める)

事業区分	継続事業(21年度～)
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	まちづくり活動拠点運営事業
事業目的	広く市民に「広まちづくり推進協議会」の浸透を図る。まちづくり活動に関心のある関係者をひろげる仕掛けづくり。
事業内容	今年3月に広商店街に完成したギャラリーの利用促進を図ることで、まちづくりの担い手となる住民を発掘、育成する。 その中心となるのは20代から40代の世代を中心とした若い世代で、彼らが中心となってこのギャラリーでの活動を足がかりに、地域へどんどん情報発信していく環境を整備する。 また、呉市・広島県にゆかりのある作家たちの発表の場として認知されるような運営を図ることで、地域の文化・芸術活動を通したまちづくりにも貢献していく。
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	広まちづくり推進機構マーブル・クラブ、地域団体、商店街、大学、作家、NPOなど
事業場所	広まちづくり推進協議会ギャラリー(旧松谷毛糸店)
スケジュール	1 貸ギャラリー営業: 通年 2 企画展(主催事業): 年4回程度(春夏秋冬)

事業区分	継続事業(21年度～22年度)
該当するまちづくり計画	③ 四季の風がそよぐ豊かな自然環境のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	私たちの道整備事業
事業目的	生活の中で利用する公共の場でもある「身近な道路」から地域づくりを始めることで、まちづくりへの参加を促すきっかけとする。
事業内容	昨年度実施した、通りの名前コンテストの結果選ばれた「愛称」を活用するため、銘板設置や樹木名表示板の整備やウォーキング道路のキロポスト設置などを行う。 また、地域住民に欠かせない生活道やシンボルロードなどの環境美化活動をサポートする仕組みについてもモデルケースを設定して取り組む。
事業主体	広まちづくり推進協議会
協力団体	各種団体、教育機関、企業、広まちづくり推進機構 マーブル・クラブなど
事業場所	広地域全域
スケジュール	1 樹木名表示板・銘板設置:9月ごろ 2 美化活動モデル事業:2月まで

事業区分	新規事業
該当するまちづくり計画	① 多様多彩な主人公たち(市民・団体・地域)の連携と協働による調和と創発のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり
事業名称	広地区成人式
事業目的	地域の各種団体が地域をあげて新成人の門出を祝う。 新成人に改めて生まれ育った地域への愛着を感じてもらう機会とする。
事業内容	「はたちの同窓会」という趣向で、卒業した中学校単位での交流会を企画する。 学校ごとの交流会場を用意し、中学校卒業以来の記念写真を撮影する。 エントランス広場では、地域団体が新成人に「ぜんざい」や「おいも汁」など懐かしい味を振舞う。
事業主体	広地区自治会連合会との共催
協力団体	各種団体、教育機関、企業など
事業場所	広地域全域
スケジュール	1 実行委員会:第1回 9月ごろ 第2回 12月ごろ 2 案内状発送:11月 3 開催日:成人の日

事業区分	新規事業						
該当するまちづくり計画	② 大好き広町！豊かな歴史・文化・生活のまちづくり ⑥ まちの魅力を内外に伝え、輪が広がるまちづくり						
事業名称	まちづくり情報発信パイロット事業						
事業目的	広に暮らす人、広で学ぶ人、広で働く人など、広地区の「人」に焦点を当て、広まちの素晴らしさをPRし、発信する際の登場人物にすることで、自分たちのまちを誇りに思えるよう機運を高めていく。						
事業内容	<p>■広まちフォトブック 広で暮らし、学び、働く人の生活をそのままファインダーで切り取った、ハンディサイズのフォトブック(試作品)を作成する。 特定の地域に絞って撮影・取材を行い、そこで暮らす人々と趣のある風景を写真で綴った小冊子に仕上げ、配付する。</p> <p>※この事業への地域からの反応や反響により、翌年度以降、継続事業として採択するかどうかを判断する。</p>						
事業主体	広まちづくり推進機構マーブル・クラブ						
協力団体	地域住民、広島国際大学、カメラ店、写真館、美容院、印刷会社など						
事業場所	広地域全域						
スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>1 取材・撮影期間</td> <td>7月～9月</td> </tr> <tr> <td>2 編集期間</td> <td>10月～12月</td> </tr> <tr> <td>3 出版時期</td> <td>2月</td> </tr> </table>	1 取材・撮影期間	7月～9月	2 編集期間	10月～12月	3 出版時期	2月
1 取材・撮影期間	7月～9月						
2 編集期間	10月～12月						
3 出版時期	2月						

(資料編)

広まちづくり推進協議会規約

(目的)

第1条 本会は、広地区の豊かな自然と、人と人との繋がりを大切にし、地区住民の主導のもと、いきいきと安心して暮らせる、活力あるまちづくりを推進していくことを目的とする。

(名称及び事務所)

第2条 本会は、広まちづくり推進協議会（以下「本協議会」という。）と称し、事務所を呉市広市民センター（広島県呉市広古新開2丁目1番3号）内に置く。

(事業)

第3条 本協議会は、第1条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) まちづくりに関する調査及び事業の企画立案及び実施
- (2) その他、目的達成に必要な事業

(役員)

第4条 本協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 会計 1名
- (4) 監査 2名
- (5) 理事 若干名

2 役員は、別紙名簿のとおり、本協議会を構成する各所属団体を代表する者をもつてあてる。

(職務)

第5条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、会を代表し、会務を統括する
- (2) 副会長は、会長を補佐する。また、会長に事故あるときはその職務を代理する。
- (3) 会計は、経理を処理する。
- (4) 監査は、会計を監査する。
- (5) 理事は、会議において本協議会の運営に必要な事項を審議する。

(任期)

第6条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第7条 会議は、会長が招集し、議長となる。

2 会議は、毎年1回以上開催し、次の事項について審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関すること。
- (2) 予算及び決算に関すること。
- (3) 事業計画に関すること。
- (4) その他、会長が必要と認めること。

3 会議の議事は出席者の過半数により決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(事業の実施)

第8条 本協議会が行う事業の実施については、実行委員会を置きこれを行う。

2 実行委員会の構成については、その都度これを定める。

(経費)

第9条 本協議会の経費は、助成金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第10条 本協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。

(特記事項)

第11条 この規約に定めるもののほか、この規約の施行に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成16年 9月30日から実施する。

附 則

この規約は、平成21年 6月19日から実施する。

別紙名簿 (第4条第2項関係)

役員	団体等名称	団体等を代表する者
会長	広地区自治会連合会	会長(地区まちづくり委員会会長)
副会長	広地区自治会連合会	副会長(地区まちづくり委員会会長)
副会長	広地区女性連合会	会長(地区まちづくり委員会副会長)
会計	広地区老人クラブ連合会	会長
監査	広子ども会連合会	会長
監査	広地区民生委員児童委員協議会	会長(3地区いずれかの会長1名)
理事	広地区女性連合会	副会長(地区まちづくり委員会副会長)
理事	第14区民生委員児童委員協議会	会長
理事	第15区民生委員児童委員協議会	会長
理事	第16区民生委員児童委員協議会	会長
理事	呉市交通安全推進委員広地区連合会	会長
理事	呉市青少年補導員広地区連合会	会長
理事	広地区人権教育・啓発推進協議会	会長
理事	広体育協会	会長
理事	広文化団体連合会	会長
理事	広地区内各小学校	校長
理事	広地区内各中学校	校長
理事	広地区内各高等学校	校長
理事	広島国際大学	学長
理事	広警察署	署長
理事	東消防署	署長
理事	広市民センター	センター長
理事	その他会長が必要と認める団体等	その団体等を代表する者

■広まちづくりワークショップメンバーの募集について

広まちづくり推進協議会
広市民センター

広まちづくり推進協議会は、広に住み、学び、働く人たちのつながりをより強く大きくし、地域にある力を結集することで、将来この広地区を支える子どもたちが夢を描けるふるさとにしたい。また、誰もがいくつになっても、安全で安心して毎日を過ごすことのできるまちにしたいと考えています。

その新しいまちづくりのグランドデザインを描き、様々な新しい人のつながりを創る提案をしていただく組織として、「広まちづくり計画策定委員会（仮称）」を設置します。

このたび、そのワークショップメンバー（計画策定委員）を次のとおり公募しますので、お知らせします。

1 公募する委員

10名程度

2 委員就任の期間

委員を委嘱した日～平成21年3月31日（期間延長する場合があります。）

3 応募資格

次の条件をすべて満たす方

- (1) 18歳以上で広地区に居住又は通勤、通学する方
- (2) 国、地方公共団体の議員又は常勤の公務員でない方
- (3) 日本語を理解できる方（国籍は問いません）

4 応募方法

所定の応募用紙に必要事項及び作文（※以下の課題から1つを選び、800字程度で記入）を記入したものを、郵送、ファクシミリ、電子メール又は窓口持参にて受け付けます。

なお、電子メールに記載する場合は、応募用紙に記載されている事項を漏れなく記入することを条件とします。

【作文の課題】

- ①あなたが思う「広」の魅力
- ②あなたが地域活動に参加して感じたこと
- ③あなたが思う「住んでみたいまち」の条件



5 募集期間

平成20年8月8日（金）～平成20年9月5日（金）※当日消印有効

6 選考方法

応募書類をもとに、広まちづくり推進協議会役員で構成する選考会において選考し、選考の結果は応募後2週間程度で応募者全員に通知します。また、委員に選出された方については、広報により公表させていただきますのでご了承ください。

7 委員の仕事

広まちづくり推進協議会が主催する、広まちづくりワークショップに参加し、勉強会、フィールドワーク、ディスカッションを通して、新しく広地区で展開できる行事や事業についての提案をまとめ、策定委員会として広まちづくり推進協議会に計画（案）を提出していただきます。

ワークショップは9月下旬から全6回（予定）、夜間を含む平日又は休日に月2回程度開催する予定です。

なお、委員は無報酬であるほか、会議出席にかかる交通費についても支給されませんので、ご了承ください。

8 応募・問い合わせ先

〒737-0112

呉市広古新開2丁目1番3号 広市民センター内
広まちづくり推進協議会事務局

電話：0823(73)7191 FAX：0823(71)5573

E-MAIL：hirosis@city.kure.lg.jp



★広まちづくり推進協議会のブログを開設しています。

どうぞご覧ください。

<http://hiromachi.typepad.jp/blog/>

■ 広まちづくり計画策定実行委員会公募委員 応募用紙

ふりがな			
氏名			
性別	男 女	年齢	歳
住所	〒 ー		
	(広地区外に在住の方は、通勤、通学先を記入してください。)		
	〒 ー		
電話番号	()	職業	
現在又はこれまでに最も多く参加した市民活動 (いずれか1つに○をしてください)	1 自治会などの地域活動 2 P T Aなど学校関係の活動 3 ボランティア団体、市民公益活動団体などの活動 4 N P O法人の活動 5 職場・企業などが単位のボランティア活動 6 特に参加したことはない		
応募動機 (最も近いと思うものに○をしてください)	1 まちづくりに自分の意見を反映させたい 2 自分自身のスキルアップにつながるから 3 自分のこれまでの経験をまちづくりに活かしたい。 4 地域に貢献したい 5 その他 ()		

記入に当たっての注意事項

- ① 日本語の楷書(かいしょ)、横書きで作成してください。
- ② 1人1通とします。それを超える場合はすべて無効とします。
- ③ 作文は400字程度でお願いします。
- ④ 郵送又はファクシミリで応募される場合は裏面原稿用紙をご利用ください。電子メールの場合様式は問いませんが、必要事項と作文を添えてご応募ください。
- ⑤ 応募用紙は返却しませんので、ご了承ください。

ファクシミリ：0823(71)5573
E-MAIL：hirosis@city.kure.lg.jp

■広まちづくり計画策定実行委員会委員選考方法及び選考基準

【選考方法】

- 1 800字以内の作文による書類審査とする。
- 2 資格審査（次の条件をすべて満たす者）を行う。
 - (1) 広地区に居住又は通勤，通学する方
 - (2) 国，地方公共団体の議員又は常勤の公務員でない方
 - (3) 日本語を理解できる方（国籍不問）
- 3 公募委員選考委員会を組織し審査を行う。
委員メンバー（各まちづくり委員会正副会長，市民センター長）
吉井光廣委員，平田久夫委員，山口幸夫委員
馬場理子委員，大洲法子委員，井原恵子委員
砂古健三委員
- 4 次の採点基準に基づき，5項目3段階評価により採点する。
- 5 また，各委員から特に優れた点をもっている者を選出（人数は制限しない）し，各々加点後に総合点を算出する。
- 6 総合点（105点満点）のうち，約5割（50点）以上の者を公募委員として選出する。
- 7 選考審査の際は，応募者の氏名等は明示せずに審査する。
- 8 審査期間は応募締め切り後，1週間程度とする。
- 9 選定結果は全応募者宛に通知し，委員に選出された者の氏名を広報等により，推薦委員と併せて公表する。

【採点基準】

1 段階評価

次の5項目について各3段階（優＝2点，良＝1点，不可＝0点）で評価。

《配点：5項目×2点×7名＝70点》

- (1) 参加の意欲，熱意は感じられるか。
- (2) 論点整理はなされているか。（アピールポイントがわかりやすいか）
- (3) 社会状況や広地区の状況について理解しているか。
- (4) 内容がわかりやすく具体的であるか。
- (5) 広への愛着が感じられるか。

2 選抜評価

作文全体で見たときに特に優れた点を持っていると思われる者を各委員が選出（人数制限なし）して加点（5点）する。

《配点：5点×7名＝35点》

■ 広まちづくり計画策定実行委員会（仮称）委員 推薦書

平成 年 月 日

広まちづくり推進協議会会長 様

団体名 _____

推薦者名 _____ 印

次の方を、広まちづくり計画策定実行委員会委員に推薦します。

ふりがな			
氏 名		性 別	男 女
住 所	〒 _____		
連 絡 先	(_____)		

※団体は、次に記載された広まちづくり推進協議会を構成する団体等とします。
また、推薦者はその団体等の長とします。

- ・ 広西北部まちづくり委員会
- ・ 広東部まちづくり委員会
- ・ 広南部まちづくり委員会
- ・ 広地区社会福祉協議会
- ・ 広地区自治会連合会
- ・ 広地区女性連合会
- ・ 広地区老人クラブ連合会
- ・ 広地区子ども会連合会
- ・ 第 14 区民生委員児童委員協議会
- ・ 第 15 区民生委員児童委員協議会
- ・ 第 16 区民生委員児童委員協議会
- ・ 呉市交通安全推進委員広地区連合会
- ・ 呉市青少年補導員広地区連合会
- ・ 広地区人権教育・啓発推進協議会
- ・ 共同募金広地区連合会
- ・ 広体育協会
- ・ 広文化団体連合会
- ・ 広地区内幼稚園・保育所
- ・ 広地区内公立小中学校
- ・ 呉商業高等学校
- ・ 広高等学校
- ・ 呉港高等学校
- ・ 広島国際大学
- ・ ボーイスカウト呉第 9 団

広まちづくり推進協議会

【事務局】

〒737-0112

呉市広古新開2丁目1番3号

呉市広市民センター1F広支所内

電話:0823(73)7191 FAX:0823(71)5573

e-mail:hirosis@city.kure.lg.jp